日本経済新聞　2009年（平成21年）10月15日（木曜日）

文化

「水語」を集めて30年

◇気象・生活…水がらみの話、6500に上る「言葉辞典」出版◇

松井健一

洗車雨、酒涙雨、北降り――。これらの言葉の共通点は何でしょう？その答えは「秋の雨の一種」である。私は30年を超える「水語」歴の持ち主。気象、生活、産業、文化などありとあらゆる分野から、水にかかわる情報や言葉を集め、整理してきた。とにかく水がらみの話であれば、何でも飛びつく。そうして積み上げてきた成果を、今夏「水の言葉辞典」（丸善）として世に送り出した。

科学の薫りに誘われ

収録した語数は6500に上る。お茶の水、泡銭、銀河系などなど。河童の屁のようなたとえもある。支離滅裂に映るかもしれないが、よく見れば何らかの形で水にかかわりのある言葉だと分かってもらえるだろう。各語を3段階のジャンル区分に従って並べ、それぞれ関連語などを付記してまとめているので、整然として使い勝手はよいはずと自負している。

ここに至る道のりの起点は、旭化成で働いていた1970年代半ば。繊維や建材などを扱う技術者だった。こうした素材と水は切っても切り離せない関係にある。例えばコンクリートはセメントと水を混ぜてつくる。その割合がカギを握るのだが、同じ比率にしても微妙なバラツキが出ることもある。水は常に悩みの種だった。

視野を広げると、水に関する不思議な話はちまたにあふれかえっている。磁力線を当てると味が変わる、といったものもある。興味がわいた私は、本当とは確信できなくても完全なウソではない、つまり多少なりとも科学の薫りがする情報を集めることにした。

勉強するうちに、そもそも水に関する言葉自体がかなりの数に達することに気づいた。そこでやや軌道修正。水語を集めることにした。

まず広辞苑の端から端まで目を通した。少しでも水にかかわるような言葉をピックアップする。比喩表現のようなあいまいなものも拾い上げる。ほかの国語辞典や漢和辞典、古語辞典、外国語の辞典も同様に参照する。雨に関する辞典も刊行されたので手に取ったが、私のようなマニアからすると範囲が狭かった。書店では棚を眺め回して、関係がありそうなタイトルの本を探した。

意味の整理などに腐心

もともと専門としている技術や科学の用語に限らず、歴史や宗教、伝説のたぐいに登場する言葉まで。手を着けてみると本当に膨大な数。20年ほど前には辞典の形にすることを意識し始めたが、こぢんまりとまとめても仕方がないので、地道に収集を続けた。

会社の仕事には影響しないように、帰宅後などに少しずつ取り組んだ。幸い私は眠りが深く、睡眠時間は3時間あれば満足というたち。寝不足で苦労するようなことはなかった。

問題は整理の手段だった。当初はパンチカードを使っていたが、やがて水語の増加ペースに追いつかなくなり、難しくなってきた。言葉の意味を後から書き換えるのが大変だったし、書きなぐった字を判読するのに苦労することもあった。そこで85年にワープロを購入、その10年後にはパソコンを導入した。いま利用するのは表計算ソフト「エクセル」。検索や並べ替えも自由自在で、一気に作業が楽になった。

集めに集めた「水語」は1万3000語。それをここ1年で、意味が重複する言葉を省くなどして6500語を厳選。辞典に収録した。

収集よりも大変だったのが、それぞれの言葉の意味をどう書くか。専門家を満足させつつ、素人にも分かりやすく、難易度をそろえるのに腐心した。ひとつの言葉につき大体、数十回は書き換えて磨き上げた。

振り返ると、日本語ほど水語が豊かな言語はないだろうという感慨がわく。雨を表す言葉は1000を優に超える。言葉が立体的に絡み合い、体系をなしている。今回の辞典は日本語だからこそできたと考えている。

日本語の奥深さ感じる

意外だったのは漢方薬関連では水語が少なかったこと。たくさんあると見込んでいたが、成果は乏しかった。考えるに広い中国では、川が日本のような急流ではなく、とうとうと流れているので色々な成分が溶け込んで硬度が高くなる。飲用に向かないので、水に親しみがわかないといった事情ではないか。

翻って狭い島国の日本では水が身近で、概念や表現が豊富になったのだろう。俳句の季語などをみるにつけ、日本語の奥行きを感じた。私の辞典を手に取った読者には、新しい造語などでぜひ、水語の世界をさらに広げてほしい。（まつい・けんいち＝水環境科学研究所代表）

後の村雨（のちのむらさめ）「村雨」は季節を問わないが、通常は夏季のもの。しかし、「秋の村雨」あるいは「後の村雨」となると、秋季を指す。

走り雨　夕立の前触れのように、急にどっと降りだして、しばらくすると止んでしまう雨。⇒水関連季語・夏

半夏雨（はんげあめ）　夏至から数えて一一日目、陰暦五月二十六日の半夏生（はんげしょう）のころに降る大雨。この日は毒

雨に関係する言葉は多数ある（「水の言葉辞典」から）